

霧島山のめぐみめぐる

えびの

広報

6 2018
JUN
vol.620

山と水、米と肉。温泉と四季のまち。

Ebino city
Public relations



今月の掲載記事

えびの市起業支援センター
市長が説明しました。平成 30 年度えびの市事業説明会
第 31 回。えびの京町温泉マラソン大会
情報公開・個人情報保護制度の運用状況を公表します
公営企業の財政状況
生活・仕事支援室をご存じですか？
Face 人 橋口定弘さん
pick up information



えびの市起業支援センター概要

■インキュベーションオフィス 16室 (1室4.3㎡)

①パーティションで仕切られています。

②平机1台、イス1脚、インターネット回線 (Wi-Fi) を準備しています。

■会議室 1室 (13㎡)

■コワーキングスペース (40㎡)

入居者や市民の皆さんが使用できるスペース

■共用設備・備品

Wi-Fi、会議室、電気設備 (1室にコンセント2口)、インクジェットプリンタ、給湯室、トイレ等

■駐車場 5台



えびの市起業支援センター

E-Bic

エビノ ビジネス インキュベーション センター
Ebino-Business incubation center

えびの市起業支援センター(愛称: E-Bic エービック)は、平成29年4月に開設され、創業起業の支援とビジネス全般の相談を行っています。同センターは、これまでえびの市になかった魅力ある仕事を創出すること、地域の新たな産業の創造を図ること、地域経済の活性化に寄与することを目的として開設されたものです。これまで同センターを9事業者が利用し、8事業者が起業しました。現在も7事業者が利用しています。

安心して相談できる

同センターでは、インキュベーションマネージャーが、起業希望者や地域の事業者に対して総合的な創業・経営支援を行います。同マネージャーは常駐しているため、起業家の問題・悩みに即時に対応することができます。また、宮崎市など都市部に行かなくても、同センターで、ビジネス・知的財産等の法律などの相談をすることができます。いつでも安心して相談できる環境が整っています。

資金調達の悩みを解消

起業家の最大の悩みは、資金調達です。市では、金融機関と包括的連携協定等を締結していますので、起業家の資金調達の悩みを解消することができます。また、市商工会が行っている無料講座「えびの創業塾」を受講すれば2年間に渡り、市から利子を補給する制度も準備されています。

充実した空間

市役所の近く市の中心部に、空き店舗を改装して作られたインキュベーション施設です。落ち着いた雰囲気、インターネット環境や器具等の設備が充実した空間を低料金で使えます。

地元の仲間が後押し

市には、すでに創業している人や事業を継承している人がいます。その人達が起業家応援団として、同センターと連携して起業を目指す人をサポートします。同じ志を持った「仲間」があなたのチャレンジを待っています。



熱心にPOPづくりに取り組んでいました



POPづくりに参加した皆さん



作ったPOPを発表しました



村岡浩司氏と日高葵氏とのトークセッション



村岡浩司氏と村岡市長とのトークセッション

市起業支援センターでは、起業に関するさまざまなセミナーやトークセッションなどが行われています。

昨年の11月15日に行われたMUKASA・HUB代表村岡浩司氏と市長、今年の5月10日に行われた村岡氏と株式会社訪うCEO日高葵氏とのトークセッションには、市内外から多くの起業を目指す人、起業している人などが集まりました。トークセッションでは、起業した経緯や経営方針、資金調達方法などについて話し、参加者は熱心に聞き入っていました。

また、2月6日に行われた西諸地区6次産業化ミニチャレンジ塾には、有限会社ホップステップアヤウェブ取締役日高亜矢氏を講師として招き、商品の価値を伝えるPOPづくりについてワークショップを通して経営者や従業員などが多数参加し学びました。

このような催し事の後は、懇談会なども行われています。参加者は名刺交換を行ったり、意見交換などを行ったりして交友関係を築いていました。

市起業支援センターは学びの場として機能していますが、いろんな職業や人との出会いの場としても機能しています。さまざまな人と会話をすることで、自分の考えた事業の確認ができ、また、新しい着想が生まれる場合もあります。皆さんのチャレンジをお待ちしています。

☎ 問 えびの市起業支援センター
27・3077



えびので起業しました

Interview

ユタカホームプランニング 代表社員 丸山さつきさん (50歳)

福祉用具や住宅の改修をする会社を起業しました。飯野に家を借りて埼玉とえびのを行き来しています。起業するときに必要な資格については、自分でも調べましたが、起業支援センターにもアドバイスをもら

いました。介護にはこれが正しい方法ということがないと聞いています。自分たちで試行錯誤しながら、また、支援センターにも相談しながら仕事をしたいです。

気軽にご利用ください

Interview

インキュベーションマネージャー 坂本文夫さん (61歳)

えびのに来てあつという間に1年が過ぎました。すべてが新しいことばかりで戸惑いばかりでした。土地勘も分かってきたので、市起業支援センターを知ってもらうため、県境を越えて活動していきたいです。

市起業支援センターでは、宮崎市に行かないとできないようなビジネス・知的財産関係など法律の相談もできます。起業している人、していない人にかかわらず、どなたでも気軽に会話の場として利用してください。



市長が直接説明しました

平成30年度 えびの市事業説明会

市では、「平成30年度えびの市事業説明会」市長が直接お話しします」を行いました。毎年、年度当初に自治会長や役員を対象に市の事業等を説明していましたが、市民に対して市長が直接説明する機会をつくって欲しいという要望が多く寄せられていたため、一昨年度から実施しているものです。

今回は、5月17日から30日の間で4日間、4地区4カ所で行い、約100人の市民の皆さんが集まりました。

説明会では、市長が平成30年度当初予算の主な事業の内容や予算額について説明を行いました。また、硫黄山噴火に伴う長江川の白濁についての対応なども説明を行いました。その後、参加した市民の皆さんから質疑を受け、市長

が答えました。

市民からの意見等は、今年度の事業に対するものから地域のことや身近なことに關するもの、吉都線の運行など、さまざまでした。この貴重な意見等を参考に、これからの事業等に反映させていきます。

なお、えびの市では「市長と語る会」を推進しています。何気ないことでもしっかりと対話することで、市の政策に反映させることができました事例があります。自治会等の申し出をもとに開催していますので、積極的な活用をお待ちしています。

説明会当日の資料や質疑応答については、市ホームページ (<http://www.city.ebino.lg.jp/>) に掲載いたします。

☎ 市企画課 政策係
35・3712 (直通)

当日たくさんのご意見をいただきましたが、紙面の都合上、一部のみを抜粋しています。

質問、意見および提案等	当日の市長回答
企画のタクシー券と福祉のタクシー券は一本化できないのか。	当初、福祉タクシー券と企画のタクシー助成券が両方使えるような制度設計をしました。今回、近距離でも使えるように改正しました。一本化することによって、それまで受けることができたサービスが受けることができないということが無いように慎重に対応したいと考えています。
人手不足が深刻であるため、外国人労働者の受け入れについて対策をとってほしい。	各企業が相当受け入れているようです。まずは住居面でサポートができればと考えています。
中小企業職場環境改善支援事業について、こういう事業をしなければならなくなったのかと寂しい気持ちだ。えびの市内の中でも町部に人口が集まるようになり、上江地区のような農村集落は廃れていく一方だ。定住できる条件を整えるようにしてほしい。	商工業者に対する支援策について、商工会と協議してルールづくりをしています。新たな投資、チャレンジをしていく人を支援していきたいと思えます。
えびの駅の改修についてだが、自治会の女性部が手芸等の作品をつくっても展示する場所がなく、駅を利用したの展示ができないものか。	活用については、現在、地元団体等と検討中であり、参考にさせていただきます。
住宅取得助成は非常にありがたい制度だ。空き家解消につながる。聞くところによると事業が終了するということが、ぜひ続けてほしい。	この制度があって、小林や湧水に家を建てようとしていた人をえびの市に誘導できているかどうかを精査させていただき、見直しも含めて事業を継続したほうが良いのかどうかを見極めたいと思います。
公債費は減っているが、大型事業が続いているので、地方債残高は今後大きくなるのではないかと。ちょうど産業団地を造成する際に地方債残高が90億を超える額になるのではないかと。本当に大丈夫か心配だ。市民に詳しく情報提供するべきではないか。	公債費は据置期間があるため、現在低い状況です。地方債残高は、平成33年度にピークを迎えます。平成30年度に実施設計します。詳細な金額が明らかになりますので、より詳細な財政計画を立てることができます。
かわまちづくり事業でパークゴルフを整備しているが、有料か。	後日回答させていただきます。(後日、担当課に無料運営を確認)
新婚家賃助成は年齢制限があるのか。	新婚であれば、年齢制限は設けておりません。婚姻日から1年以内に申請するのが条件です。
多子世帯への支援はないものか。お祝い金などは。	第3子以降の保育料無償化は行っています。お祝い金については議論しましたが、子どもを育てやすい環境づくりが重要だと考えています。
介護保険料は、県内では一番高いが、伸び率としては低かった。大変いい傾向であるが、市長としての認識は。	介護保険料は3年に一回の見直しになりますが、前回は県内で一番高かったことをきっかけに百歳体操をしていただけた地域がたくさん増えました。そのおかげで伸び率が低かったところでもあります。百歳体操で、地域の絆も改めて生まれつつありますので、地域で末永く元気で暮らしていただければと期待しています。
吉都線で車両が2両から1両になった時に、大幅な遅延があった。カーブに差し掛かるときにスピードが普段以上に出ていて怖かったという子どもたちの話を聞いたが。	今回、市PTAの皆さんの署名もあって、6月以降も6時54分吉松発は2両編成で運行していただくことになりました。JRからは子どもたちの数が減らない限りは2両で続けていくという回答でありましたが、安全面も含めて要望していきます。
飯野駅のトイレの前に段差がある。車いすに支障がないようにしてほしい。	要望をお聞きしていますので、近いうちに対応できると思えます。



真幸地区で行われた事業説明会 (5月21日)



上江地区で行われた事業説明会 (5月17日)



飯野地区で行われた事業説明会 (5月30日)



加久藤地区で行われた事業説明会 (5月18日)



えびのの京町温泉 第31回 マラソン大会



①親子で3km走りました②5kmコースに挑むランナー③選手宣誓を行う阿多さん親子④河野宮崎県知事が参加⑤ゲストの森脇健児さんとハイタッチ⑥ハーフコースを走り終えてゴールするランナー⑦大会前日、西川北高齢者クラブの皆さんがコースの清掃を行いました⑧ランナーにカレーなどが振る舞われました⑨沿道では市民の皆さんが応援⑩バイクサポーターがランナーを支援⑪ランナーの足の治療を行う救護班⑫3kmコースのスタート⑬約5km地点を疾走するランナー⑭ゴール後ランナーに飯野高校生が給水⑮エイドでは、自衛隊員や飯野高校生が給水⑯米盛病院（鹿児島市）からドクターカーなどの派遣を受けました⑰西日本高速道路メンテナンス九州株式会社から移動トイレの提供を受けました⑱真幸駅までの約4kmの登り坂に挑むランナー⑲笑顔で走るランナー⑳・㉑懸命に走るランナー（約16km地点）㉒さまざまなコスチュームで走っていました

5月20日、グリーンパークえびのをメイン会場に「第31回えびのの京町温泉マラソン大会」が行われました。今回の大会は、ハーフ、5キロ、3キロ、親子3キロ、1・5キロの部でランナーを募集し、市内外から過去最高の2961人がエントリー。ハーフの部には1710人が参加しました。ランナーたちは、ゴールのグリーンパークを目指して駆け抜けました。同大会は、市、地元住民、ボランティア、関係機関・団体などが一体となって大会運営を行いました。運営に携わったボランティアは、個人、飯野高校生、市議会議員、陸上自衛隊えびのの駐屯地の隊員、市職員など20団体、368人でした。大会は、多くのボランティアの支援で成功を収めることができました。

公営企業の財政状況

えびの市の公営企業（水道事業・病院事業）の財政状況については、毎年6月と11月に公表しています。今回は、平成29年10月1日から平成30年3月31日まで（平成29年度下半期）の予算の収入と支出の状況についてお知らせします。（四捨五入の関係で、数値、率が一致しない場合があります。）

水道事業

◆◆ Data ◆◆

◎水道業務量

平成29年10月1日～平成30年3月31日

- [給水戸数] 8,474戸
- [給水人口] 17,301人
- [下半期給水量] 951,151m³
- [1日平均給水量] 5,230m³
- [1人1日平均給水量] 302.3%
- [普及率] 86.5%

◎借入金残高

19億2,154万円

■お問い合わせ先

えびの市水道課 経営管理係
☎ 35-1113（課直通）

【事業収入に関する事項】

単位：千円

区分	予算額	執行額		収入率%
		下半期	累計	
水道事業収益	353,343	191,538	353,134	99.9
営業収益	321,721	161,236	322,185	100.1
営業外収益	31,621	30,288	30,897	97.7
特別利益	1	14	52	5226.9

※収入の営業収益は、水道料金や手数料、水道加入金など。営業外収益は長期前受金戻入など。特別利益は、過年度損益修正益。

【事業費用に関する事項】

単位：千円

区分	予算額	執行額		支出率%
		下半期	累計	
水道事業費用	356,950	197,771	344,561	96.5
営業費用	332,493	185,425	320,107	96.3
営業外費用	24,409	12,346	24,407	100.0
特別損失	48	0	47	98.4

※支出の営業費用は、原水および浄水費、配水および給水費、減価償却費など。営業外費用は、企業債の償還利息。

病院事業

◆◆ Data ◆◆

◎病院業務量

平成29年10月1日～平成30年3月31日

- [病床数] 50床
- [患者数（入院）] 5,478人
- [患者数（外来）] 11,974人
- [1日平均入院患者数] 30.1人
- [1日平均外来患者数] 99.8人

◎借入金残高

1,802万円

■お問い合わせ先

えびの市立病院
☎ 33-1023

【医業収入に関する事項】

単位：千円

区分	予算額	執行額		収入率%
		下半期	累計	
病院事業収益	824,797	405,335	821,665	99.6
医業収益	676,955	337,020	677,587	100.1
医業外収益	147,841	68,315	144,078	97.5
特別利益	1	0	0	0.0

※収入の医業収益は、診療報酬、手数料、他会計負担金など。医業外収益は、他会計補助金など。

【医業費用に関する事項】

単位：千円

区分	予算額	執行額		支出率%
		下半期	累計	
病院事業費用	916,083	483,131	843,194	92.0
医業費用	913,552	481,350	841,036	92.1
医業外費用	1,672	1,292	1,669	99.9
特別損失	530	489	489	92.3
予備費	329	0	0	0.0

※支出の医業費用は、給与費、材料費、経費、減価償却費など。医業外費用は、企業債の償還利息など。特別損失は、固定資産売却損など

情報公開・個人情報保護制度の運用状況を公表します

情報公開条例および個人情報保護条例に基づき、市は、毎年その運用状況を公表しています。平成29年度の運用状況を以下のとおり公表します。

公文書公開の実施状況

請求件数	全部公開	一部公開	非公開	不服申立て
50件	20件	19件	11件	1件

表中の『一部公開』については、公にすることにより、特定の個人や法人等の権利、利益を害すると認められる情報、事務や事業の適正な遂行に支障を及ぼすと認められる情報に該当するとして一部が非公開とされたものです。表中の『非公開』については、「該当する公文書が存在しない」または「公文書に該当しない」ものです。

会議の公開の運営状況

市では、情報公開条例に基づき、審議会等の会議を公開しています。これは、市のさまざまな計画や施策の決定過程を広く市民の皆さんに公開することにより、市政に対する市民の権利の確保に努め、市政に対する理解を深めてもらい、開かれた市政の実現を図るために行っているものです。

	平成29年度	平成28年度
会議の開催回数（a）	154回	129回
公開された会議の回数（b）	128回	108回
非公開とされた会議の回数	26回	21回
傍聴者数（合計）	10人	14人
公開率（b/a）	83.11%	83.72%

非公開（一部公開を含む）とされた会議は、個人情報に関する部分や審査・評価に関する事項についてのみ非公開とした会議です。

個人情報保護制度の運用状況

開示請求	訂正等請求	不服申立て	目的外利用	外部提供	個人情報取扱事務登録件数（平成30年4月1日現在）
0件	0件	0件	0件	2件	288件

表中の『個人情報取扱事務登録件数』とは、市の事務のうち、個人情報を収集・管理・利用・提供する事務について、個人情報取扱事務目録に登録している事務の件数をいいます。内訳は、市長部局192件、教育委員会47件、農業委員会18件、選挙管理委員会23件、議会3件、監査委員2件、固定資産評価審査委員会2件、公平委員会1件となっています。

■お問い合わせ先

市総務課 行政係
☎ 35-3711（課直通）

生活・仕事支援室を「ご存じですか？」

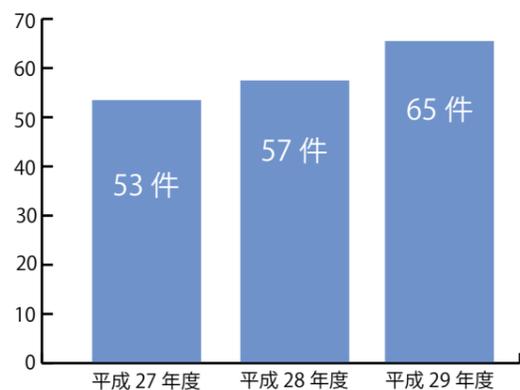
市では、生活上のあらゆる困りごとを抱えている人の支援を行うため、平成27年度から総合的な窓口として「えびの市生活・仕事支援室」を設置しています。

支援室では、関係機関等と連携しながら、相談者の悩みや問題の解決に向けて支援を行っています。お気軽にご相談ください。

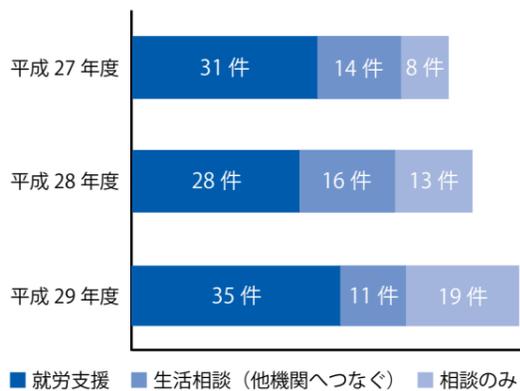
支援内容

●自立相談支援
個人、家庭、生活で困っていること

◎過去3年間の相談件数(新規相談のみ)



◎相談者への対応内容



●就労支援
求職相談や就労定着で困っている人に、求人紹介や履歴書作成、面接指導を行い、就労に向けたサポートを行います。

●就労準備支援
就労や生活習慣に課題を抱える人に、キャリアカウンセリングや職場体験など、就労までのサポートを行います。

●家計相談支援
支出が収入を上回っている人や公共料金などの支払いが滞っている人などに、家計の見直しをサポートします。

◎相談事例

事例①：就労支援

「仕事が見つからない」
↓
市生活・仕事支援室での相談・支援
↓
本人の希望でハローワーク小林へ同行支援
↓
就労定着

事例②：生活支援

「脳卒中で会社を退社」
↓
市生活・仕事支援室での相談・支援
↓
精神障害者手帳の申請手続きの支援
ハローワークと連携し、仕事の紹介
↓
精神障害者手帳の取得
就労の開始

事例③：生活支援

親の介護が必要となり、仕事を辞めて帰郷
↓
市生活・仕事支援室での相談・支援
↓
親の介護サービスの提供に向けた支援
ハローワークと連携し、仕事の紹介
↓
就労の開始

●緊急食料支援
緊急に食料等を必要とする人に、当分の間の食料等を提供します。

●市生活・仕事支援室（市役所本庁2階）
☎35・3741（直通）
【相談日】月曜～金曜（土・日、祝日を除く）
【相談時間】午前9時～午後4時



市役所本庁2階の生活・仕事支援室で相談を受けています



橋口定弘さん

Profile
はしくちさだひろ / 上江
39歳 / 趣味：魚つり

のんびり過ごせる道の駅に



「ゆっくりのんびりと一日過ごせる道の駅にしたいです」と話すのは、道の駅えびの新支配人の橋口定弘さんです。

橋口さんは、4月1日付で、道の駅えびの支配人になりました。支配人になるまでは、道の駅えびのオープン当初から副支配人を務めていました。「オープンの頃が一番大変でした。準備することがたくさんありまして、何よりどうやってお客さんを迎えたいのかという不安の方が大きかったです」と振り返ります。

5月26日に道の駅えびのの来場者が300万人を超えたことから記念式典が行われました。「本当にありがたいことです。新鮮な品物を届けることができるように、従業員全員で毎日チェックしています。これからも安心して買い物してもらえよう努力します」

橋口さんは、現在の道の駅が買い物をして、食事をしてすぐ帰るという短時間滞在型であることを変えたいと考えています。「将来的には長時間滞在型を目指しています。えびのを感じて少しでも長く滞在してもらうため、品物や食堂のメニューなどにもっと地域色を出そうと取り組んでいます」
オープン当時に比べると市民の利用が増えていると感じている橋口さん。「市民の皆さんの憩いの場にもなっていると思います。それがうれしいです」と笑顔でした。

防衛

防衛関連事業の状況を公表

市基地・防災対策課 基地・防災対策係 ☎35-1119 (直通)

交付された補助金・交付金内訳

◎特定防衛施設調整交付金事業

(単位:千円)

事業名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	合計
霧島演習場関連公共用施設(教育文化施設:市立上江小プール)整備事業	19,481			19,481
	14,580			14,580
霧島演習場関連公共用施設(教育文化施設:市立岡元小プール)整備事業		14,245		14,245
		6,105		6,105
霧島演習場関連公共用施設(交通施設:西長江浦演習場線)整備事業	21,998	22,283	26,907	71,188
	19,014	20,000	25,952	64,966
霧島演習場関連公共用施設(交通施設:東長江浦演習場線)整備事業	17,200	17,706	22,240	57,146
	15,000	16,000	22,200	53,200
合計	58,679	54,234	49,147	162,060
	48,594	42,105	48,152	138,851

※上段数字は事業費、下段数字は補助額を記載

◎民生安定助成事業

(単位:千円)

事業名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	合計
えびの駐屯地周辺整備水道施設設置助成事業	261,927	130,192		392,119
	118,323	54,029		172,352
霧島演習場周辺消防施設設置助成事業	18,036			18,036
	7,469			7,469
霧島演習場まちづくり構想策定支援事業	20,245			20,245
	18,789			18,789
霧島演習場まちづくり支援事業(仮称:防災食育センター建設事業)		25,395	1,534,903	1,560,298
		19,046	221,540	240,586
合計	300,208	155,587	1,534,903	1,990,698
	144,581	73,075	221,540	439,196

※上段数字は事業費、下段数字は補助額を記載

◎使途が制限されない交付金(自衛隊関係)

(単位:千円)

交付金の種類	平成27年度	平成28年度	平成29年度	合計
国有資産等所在市町村交付金	2,483	2,310	2,133	6,926
国有提供施設等所在市町村助成交付金	9,965	9,689	9,091	28,745
合計	12,448	11,999	11,224	35,671

※国有資産等所在市町村交付金とは、国や都道府県等地方公共団体が交付金を交付する年度の前年3月31日現在で所有する固定資産のうち、使用の実態が民間所有のものと類似しているものについて、地方税法で定める固定資産税の代わりに交付される交付金です。

※国有提供施設等所在市町村助成交付金とは、米軍の施設や自衛隊が使用する施設が所在する市町村へ財政上の影響等を考慮して、固定資産税の代替的なものとして交付される交付金です。

※使途制限がないため、歳出予算の財源に充てています。

「防衛施設周辺自治体には、防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」に基づき、自衛隊等の活動により生

じる障害を防止または軽減するための事業に対し、防衛省等から補助金や交付金が交付されています。市では、この

補助金等を活用し、施設や道路等の生活環境の整備を行っています。

協働

ぶらいど21助成事業の活動実績

市民協働課 市民協働係 ☎35-1118 (直通)

市では、市民の皆さんが主役になって自ら行う地域づくり、まちづくり活動に対し、助成金を交付する「ぶらいど21市民団体活動助成金」事業を行っています。

平成29年度は、ソフト事業(まちづくり活動)5団体とハード事業(施設整備)1団体の計6団体が助成金の交付を受け、活動を行いました。

平成29年度の市民団体の活動実績は表のとおりです。

【ぶらいど21助成金とは】

21世紀を迎え、私たち市民が市内にある歴史や文化、産業をしっかりと見つけ、誇りと自信を持って、いきいきとしたまちづくりを進めるために、予算で定める額を上限として、その活動を行う市民団体に助成金を交付するものです。

※ぶらいど21助成金の詳しい内容については、市民協働課までお問い合わせください。

平成29年度ぶらいど21助成金交付団体(市民団体)活動実績

団体名	活動実績
島津義弘公大河ドラマ誘致委員会	大河ドラマの実現に向けて、市民とともに改めて認識を深めるために、義弘に関する歴史実績等の学習や、えびの市内における義弘の史跡めぐりツアー、まち歩きの達人東川隆太郎氏や歴史作家桐野作人氏を招いての講演会を開催しました。また、日置市・始良市・湧水町と連携を図り、他地区と同じデザインのものづくり旗作成や、えびの市歴史民俗資料館と共催で講演会に向けた県内外へのパンフレット配布・ポスター掲示を行いました。
えびの映画祭実行委員会	えびの市出身の映画監督である故黒木和雄氏の助監督を務めた後藤幸一監督作品「恋谷橋」と日向寺太郎監督作品「生きもの・金子兜太の世界」の上映会を開催しました。上映後には、後藤氏と脚本家の松田知子氏出席のシンポジウムを開催し、上映作品およびえびのロケへの理解と関心を深めました。また、上映会前後の3日間、後藤氏と松田氏がえびのロケ用のシナリオ作成のため、市内各所の見学や取材を行いました。
白鳥地区活性化協議会	えびの市を代表する観光地「えびの高原」への入り口である白鳥集落において、おもてなしの心をもって、観光客に豊かな自然環境および憩いと交流の場所を提供するために、県道周辺の雑木伐採、除草作業、アジサイの植栽等を行いました。また、平成25年度から県のいきいき集落に認定されている日南市宮浦地区を視察し、これまでの活動の経緯等について話を聞きました。
川内川の生きものを守る会	クルソン峡渓谷一帯をヤマメの宝庫として目指すための水質検査や、豊富な清流保持と従来の河川を取り戻そうと放流活動や研修活動を行いました。また、移動水槽を活用した移動水族館イベントを、岡元小学校と真幸小学校での出前講座および田の神さあひの里産業文化祭で実施し、川内川の魚を見る機会を提供しました。
京町温泉みなほ会	京町温泉・吉田温泉の魅力をPRし、京町地区の地域活性化につなげるため、100人でオリジナル色浴衣を着用し、観光拠点で写真を撮るイベントや写真スポットマップを作成し、そこで色浴衣を着て写真を撮ってもらうイベントを実施しました。写真をSNSにアップし広くPRしたことで大きな反響を得ることができました。
えびの飯野駅をといちらかさん会	駅の利用者の利便性向上のために、駅のトイレの新築工事を行いました。トイレを水洗化したことにより、利便性が向上し、より多くの人が集う飯野駅となり、地域の交流促進につながりました。



水洗トイレを新築(えびの飯野駅をといちらかさん会)



真幸駅で色浴衣を着て写真撮影(京町温泉みなほ会)

5/14

えびの警察署落成式



地域の安全・安心を守る

「えびの警察署落成式」が行われました。同式には、宮崎県知事など関係者約60人が出席しました。

同署は、窓口や相談所を1階に配置してバリアフリーとなっており、外観は落ち着いた色合いで、また地震に強いものとなっています。

壹岐幸啓えびの警察署長は「署員一同、安全・安心の意識を強く持って、地域の治安に努めていきます」とあいさつしました。

5/14

身体障害者相談員委嘱状交付式



障がい者の福祉を増進

市役所で「身体障害者相談員委嘱状交付式」が行われました。同相談員は、地域の実情に精通している身体障がい者等の中から社団法人宮崎県身体障害者団体連合会の会長の推薦を受けて、市長が委嘱するものです。その活動は、障がいのある人またはその保護者等からの相談に応じて、更生に必要な援助等を行います。

委嘱を受けたのは、上野芳伸さん、福重安雄さん、内嶋千代美さんの3人です。

5/13

ダイワハウス全国少年少女野球教室



野球の魅力を伝える

真幸地区体育館で「第24回ダイワハウス全国少年少女野球教室」が行われました。これは、日本プロ野球クラブが毎年全国で行っているもので、えびの市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会がえびのに誘致しました。

同教室には、市内外の9チーム、約120人が参加し、ボールの握り方や取り方、ボールを打つ時のこつなどの指導を受け、練習で実践していました。

5/7

一貫教育部会等委嘱状交付式



児童・生徒の学力向上のために

市役所で「平成30年度えびの市一貫教育部会等並びに市スーパーティーチャー委嘱状交付式」が行われました。委嘱を受けたのは学力向上推進部会、英語教育推進部会、総合えびの学部会、市教育研究センターの4部会37人、スーパーティーチャー2人です。

スーパーティーチャーを委嘱された山之口忍教諭(真幸小)は「学力向上につながる授業を行っていきます」と抱負を述べました。

5/23

えびの市留学生歓迎会



留学生166人を歓迎

市国際交流センターで「えびの市留学生歓迎会」が行われました。今年、中国の長春日章学園高中(高校)からえびの市の日章学園九州国際高等学校にきた留学生166人を歓迎しました。歓迎会では、えびの太鼓や留学生の歌などが披露されました。

留学生の鄭桐(ジャントン)さんは「日本の大学に進学するために努力しながら、地域の人とも交流したいです」と話していました。

5/14

自衛官募集相談員委嘱状交付式



自衛官確保のために

市役所で「自衛官募集相談員委嘱状交付式」が行われました。同相談員は、区市町村長と自衛隊地方協力本部長の連名により委嘱され、自衛官志願者に関する情報の提供や自衛隊地方協力本部が行う募集のための広報活動に関する援助・協力を行います。

委嘱を受けたのは、伊地知辰雄さん、木下信義さん、園田軍志さん、竹下幸一さん、松葉一弘さんの5人です。

5/13

大野勇太吉都線ライブ



歌で吉都線を盛り上げる

えびの飯野駅で「大野勇太吉都線ライブ」が行われました。これは、歌の力でえびの市を元気にし、小林市などと一緒に吉都線を盛り上げようとえびの飯野駅をといちらかさん会が行ったものです。

ライブには子どもから高齢者まで市内外から約90人が訪れました。訪れた皆さんは、歌に合わせて手拍子をしたり、一緒に歌ったりして楽しんでいました。

5/12・13

えびの駐屯地創立37周年記念行事



地域との交流を深める

5月12・13日、「えびの駐屯地創立37周年記念行事」が行われました。

12日には、飯野Aコープ前からタイヨーえびの店前までの県道で自衛官候補生などによるパレードや、タイヨー駐車場で都城音楽隊のミニコンサートなども行われました。沿道には多くの市民などが訪れました。

13日には、駐屯地で記念式典が行われました。

5/29

特命大使委嘱状交付



国内外へ魅力を発信

市では、海外からのインバウンド増加等による地方創生の実現を図るため、株式会社 en art & design CEO の藤山邦子さんに「九州 きりしま えびの 地方創生特命大使」を委嘱しました。委嘱期間は、2021年3月31日までです。

藤山さんは、「ピンチはチャンスです。硫黄山の噴火に伴う風評被害などを払拭できるように、えびのの魅力を国内外にしっかり広めていきます」とあいさつしました。

5/29

包括的連携協定締結式



宮崎太陽銀行と協定締結

市と株式会社宮崎太陽銀行との「包括的連携協定締結式」が行われました。これは、包括的な連携により、地域の発展に寄与することを目的に結ばれたものです。産業や観光など、5つの分野で連携をとり、地域の活性化に向けて取り組みを行います。

同社専務取締役の河野文一さんは、「市と協力してえびのを盛り上げられるよう尽力します」とあいさつしました。

5/26

道の駅えびのの記念式典



来場者が300万人を突破

道の駅えびのの来場者が300万人を突破し、記念式典が行われました。式典では、300万人目の来場者に、えびの産ヒノヒカリや宮崎牛などの記念品が贈呈されました。300万人目の来場者は、佐賀市在住の齊藤幸男さんでした。

齊藤さんは「毎月道の駅に来ているのでうれしいです。いろいろな道の駅に行っていますが、ここは自然が良く、苗が生き生きしてて良いです」と話していました。

5/24

えびの市選手団結団式



一つでも勝ち進む

市文化センターで「みやざき県民総合スポーツ祭えびの市選手団結団式」が行われました。同スポーツ祭は6月2日から7月28日まで宮崎市を中心に行われます。結団式には、19競技に出場する約130人が参加しました。

選手団を代表して、女子ソフトボール競技に出場する福田枝里子さんが「市民の代表として昨年以上の成績を残すことを目標に頑張ることを誓います」と宣誓しました。

5/31

青年会議所×飯野高校 合同事業



郷土愛を深める

青年会議所と飯野高校の合同事業「将来の夢を描こう! ~君の可能性は無限大~」が行われ、同校の1・2年生166人が参加しました。これは、青年会議所が地域を担う高校生に、郷土愛を育ててもらい、将来への明るい夢や目標を持ってもらおうと行ったものです。

同事業では、グループディスカッションや、青年会議所メンバーによるトークセッションなどが行われました。

5/29

JAL 新JAPAN PROJECT記者会見



えびのの魅力を国内線で発信

和料理周山で JAL の新 JAPAN PROJECT の会見が行われ、機内誌「SKYWARD6月号」でえびの市が紹介されることと、6月の国内線ファーストクラスで「和料理 周山」監修による夕食が提供されることが発表されました。このプロジェクトは、JAL が地域プロモーション活動として、3か月ごとに集中してその地域の素晴らしさや魅力を伝えているもので、4月から6月は「沖縄・奄美・南九州」でした。

5/26

第8回文化フェスティバル



日頃の成果を発表

市文化センターで「第8回文化フェスティバル」が行われました。会場には、市内外から約500人が訪れました。

第一部は芸能発表、第二部は映画「ペコロスの母に会いに行く」が上映されました。

芸能発表では、琴名流大正琴えびののサークルの「大正琴」、藤乃流藤乃淳汝社中の「舞踊」、3B体操同志会の「3B体操」の発表がありました。

5/25

森林教室



森林の大切さを学ぶ

昌明寺の市有林で「森林教室」が行われました。これは、森林等の自然の大切さを理解し、ボランティア活動を通して、郷土の自然の保全の意義や方法を学ぶため行われたものです。上江小中学校中学部の生徒47人と森林づくり隊5人が参加し、下草刈りの作業などを行いました。参加した田中琉生垂くん(中学3年)は「森林を守るということは大変なことだと思いました」と話していました。

交通安全県民総ぐるみ運動



7月11日(水)～20日(金)に、夏の交通安全県民総ぐるみ運動を行います。次のことに注意して安全運転に取り組みましょう。

- ・脇見、ぼんやり等の漫然運転の追放および歩行者優先の運転の推進
- ・子どもと高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止
- ・自転車の安全利用の推進
- ・すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ・飲酒運転の根絶
- ・高速道路の安全利用の推進

5月の交通事故発生状況	人身	4件	本年累計	22件
	物件	25件	本年累計	126件

災害から命を守るため



近年の温暖化に伴い、局地的集中豪雨が増加しています。災害から命を守るため、次のことを身に付けましょう。

- ・えびの市の防災マップで危険箇所を確認
浸水区域、土砂災害区域、土砂災害特別区域を事前にチェック。
- ・雨の降り始めに気象情報を確認
気象注意報・警報・避難情報を確認し、早めの避難準備を行う。
- ・豪雨になる前に早めの避難
避難情報をチェックし、避難経路を確認。避難場所への移動が危険な場合は自宅などの高い階へ避難。

5月の活動状況 [えびの消防署管内]	火災	1件	年計	7件
	救急	52件	年計	362件

地域おこし活動



ドローンを操作して撮影する佐山隊員

これからもえびので林業を学びます

今年の5月までで、林業地域おこし協力隊の任期を終えました。この3年間の成果はなんと1つとも、林業関係の技術だと思えます。とはいっても、3年間という期間では足りず、まだまだ学ぶべきことはたくさんあります。林業の現場である山林はそれぞれの場所によって周りの環境が全然違うので、前回上手くいったからそれを真似する…なんてことが出来る場面はそんなに多くありません。そのた

め、その都度状況等を考慮しつつ、さまざまなことに対応していく必要性があります。また最近では山林の売買にも少し携わっていて、山林の相場がきちんとわかるように、これからさまざまな山林を見て、適正価格と自分で架空設定した価格と比べて、違いの差を考察し、先輩と意見交換をし、見識を深めていきたいと思えます。

地域おこしとしては、林業が主だったもので、そこまでの活動はできなかつたかもしれません。今後OBとして市や、林業を宣伝する場面があると思います。もし、新しい隊員が入ってきたらサポートしていければいいなと思っています。

任期後には、協力隊時代にお世話になった前田木材有限会社に勤め、えびの市に住み続ける予定です。えびのに来ることで、自然や人々に触れ合うことができてとても良かったです。

文：佐山 雄志隊員

男女共同参画



6月23日から29日は男女共同参画週間

内閣府の男女共同参画推進本部では、男女共同参画社会基本法の公布・施行日である6月23日を踏まえ、毎年6月23日から29日までの1週間を「男女共同参画週間」として、さまざまな取り組みを行っています。

男女共同参画社会とは「男性だから女性だから」という固定観念を見直し、男女がよきパートナーとしてお互いを尊重し、責任も分かち合いながら、さまざまな場面

でそれぞれの個性と能力を発揮できる社会のことをいいます。少子高齢化の進行や家族形態の多様化、社会経済情勢の変化等に対応していく中で、女性にとっても男性にとっても生きやすい社会、そして住みやすいえびの市を築いていくためには、「男女共同参画社会」の実現は必要です。

この社会を実現するためには、政府や地方公共団体だけではなく、事業所や市民の皆さんの一人一人

の取り組みが必要です。

市では、平成25年に策定した「第2次えびの市男女共同参画基本計画」が、今年度、目標年度に達するため、第3次基本計画の策定に取り組みます。

内閣府では、平成30年の男女共同参画週間のキャッチフレーズを募集し、「走り出せ、性別のハードルを超えて、今」に決定しました。この機会に男女参画について考えてみませんか。

文：市総務課人権啓発室

いきいき!健康



健診でからだの状態を知りましょう

生活習慣病とは、偏った食生活や睡眠不足、運動不足、喫煙、ストレスなどの積み重ねが長年続くことによって起こる病気で、生活習慣が発症に関わっていると考えられる病気の総称です。代表的なものに、高血圧症や糖尿病、脂質異常症などがあります。

初期の生活習慣病は、特に自覚症状がないことが多いため、いつの間にかこれらの病気が進行し、命に関わる重篤な症状を引き起こす危険があります。そうならないために、「健診」を受けて、からだの変化に早く気付くことが大切です。

健診は、まだ自覚症状がなく、自分では気付かないようなからだの変化を発見し、このままでは発症するかもしれない病気を未然に防ぐ役割があります。

第2次健康日本21えびの市計画では、健康の指標の一つである「健診を受けて自分のからだの状態がわかる」(健診編)を第一段階とし、健診結果から一人一人が「栄養」「運動」「休養」で生活習慣の改善を図り、生活習慣病の発症予防や重症化予防を目指しています。

年に1回は必ず健診を受けるようにし、自分のからだ(健康)の状態を知りましょう。また、健診結果から日頃の生活習慣を見直し、健康を維持するために、できることから取り組んでみませんか。

文：市健康保険課 後藤栄養士

婚活を企画しませんか 「出会い創出事業補助金」

市では、独身の男女が出会えるイベントなどを開催する団体等に、事業費の一部を補助します。交流会や農業体験、料理教室などのイベントを企画して、出会いをプロデュースしてみませんか。

【補助対象者】市内に所在地がある法人や団体

【補助対象事業】独身の男女を対象とした出会いの場を提供するイベントで次の要件を満たすもの

- ①参加者が独身で20歳以上
- ②参加者総数が10人以上
- ③参加者の男女比率が偏っていない ※少ない方の比率が全体参加者の3割以上
- ④参加者の5人以上が市内在住者

【補助対象経費】会場使用料、各種借上料、広告宣伝費、講師・司会者の謝礼・旅費、事務経費、消耗品費など

【補助対象外経費】飲食費（材料費含む）、賞品・景品代、参加者の旅費・交通費など

【補助金の額】補助対象となる経費の全額 ※上限10万円

【申込方法】申請書に必要事項を記入の上、市企画課定住対策係へ提出してください。 ※申請書は、市企画課で取得するか、市ホームページ（<http://www.city.ebino.lg.jp/>）からダウンロードできます。

詳しくは、市企画課定住対策係までお問い合わせください。

申・問市企画課 定住対策係

☎35-3713(直通)

初心者向け「スズランバッグ講座」

市では、生涯学習の一環として、スズランバッグ講座を開催します。梱包用ビニールひもでオシャレで丈夫なバッグを編んでみませんか？

手作りバッグに興味・関心のある人など、参加をお待ちしています。

【開催日】7月4日（水）、11日（水）、18日（水）、25日（水）、8月1日（水）、8日（水）、16日（木）、22日（水）、29日（水）全9回

【時間】午後7時30分～午後9時

【会場】文化センター

【定員】10人程度（先着順）

【材料費】1,000円（初回のみ）

【準備するもの】特にありません。

【申込方法】市社会教育課社会教育係に電話でお申し込みください。

【申込期限】6月29日（金）

申・問市社会教育課 社会教育係

☎35-3719(課直通)

「ジークフリート」えびの公演 市民合唱団団員募集

市文化センターでは、日本の最高峰とされる新国立劇場で現在活躍中のオペラ歌手・指揮者および奏者によるワーグナー作曲のオペラ「ジークフリート」を上演します。上演の中で、市民の皆さんが合唱できる演目を用意しています。一流のオペラ歌手と同じ舞台に立って歌ってみませんか。

【公演日時】10月21日（日）午後2時開演予定

【対象者】高校生以上

【講師】小倉真里子氏、吉留恵子氏、重山陽子氏

【特別講師】池田香織氏

【練習会場および期日】

会場	期日
市文化センター	9月1日（土）、8日（土）、15日（土）、29日（土）、30日（日）、10月6日（土）、7日（日）、10日（水）、13日（土）、17日（水）
飯野地区コミュニティセンター	9月23日（日）、10月3日（水）

※9月23日は特別講師、9月30日、10月7日は指揮者による指導を予定しています。リハーサルは10月20日（土）です。

【時間】午後7時～午後7時30分

【申込方法】ジークフリート運営委員会に電話でお申し込みください。

申・問ジークフリート運営委員会（担当：小倉）

☎090-9653-6443

問市文化センター

☎35-2268

おすすめの一冊



自分におどろく

たなかかずお／文
あべ弘士／絵
（童話屋）



老後と介護を
劇的に変える食事術

川口美喜子／著
（晶文社）

◎ブックランド号

	7月	時間
①飯野駅前地区体育館→飯野出張所	11日（水）、25日（水）	14:05～15:15
②麓橋団地→自衛隊官舎	13日（金）、27日（金）	15:30～16:30
③岡元小学校→市立病院→さくら苑	4日（水）、18日（水）	13:15～15:15
④ブラッセだいわ→老人福祉センター	5日（木）、19日（木）	14:05～15:55
⑤飯野地区コミュニティセンター→大平職員宿舎	6日（金）、20日（金）	14:05～15:15

◎お知らせ

■七夕に願い事を

- 期間＝7月7日（土）～8月12日（日）
- 内容＝7月7日から七夕かざりをします。短冊に願いごとを書いて飾ってください。

■土曜シネマ

- 日時＝7月21日（土）午後1時30分～
- 場所＝学習室
- 参加料＝無料
- 内容＝「猫侍」（大人向け）
- ※上映日、内容が変更になる場合があります。

■夏休み子ども読書手帳配布

- 期間＝7月21日（土）～
- 配布数＝30冊
- ※なくなり次第終了となります。

えびの市民図書館

☎35-0242 <http://ebino-city-lib.jp/>

- 開館時間 ■ 火曜日～土曜日／午前9時～午後7時
日曜日・祝日／午前9時～午後5時
- 休館日 ■ 毎週月曜日（祝日法に定める休日と重なった場合はその翌日）

心の一首一句

あなたもつくってみませんか。

粉ひき白が
私の幼い頃から
今も家に残る
だが、白ひく人の
姿の記憶は 私にない

庭先に つなぎもせぬが
逃げもせず
動きもせぬが
腐りもせぬが
石臼を前に考えた
白を 誰が最後に
ひいたのかと

全てを知る人は
誰も存在しない
利用され残された
石臼だけは
知っている その思いを
子供 孫に伝える術はない

短歌
硫黄山二五〇年ぶりの噴火なり
荒ぶるままに人智すべなし

俳句
先を行く夫の足音田を植ゑる

詩
粉ひき白
西幸一

中堀ふじ子
田植えの出来ない年が来るなど想像もしませんでした。いつものようにコマツくりの出来る有難さを感じながらの田植えです。休耕をする人も、いつもより作付けの多い人も、できたコマを売る人も苦難の多い年となるでしょう。それぞれの力と知恵を出し合って乗り越えていきましょう。（自註）

竹下妙子
水無月は入梅となり田植の始まる時期なのに突然の霧島連山の噴火が起り、活火山のマグマ溜りに位置するえびのは人間の智慧ではなす術もない。農産業あらゆる方面に被害を受けている。幾世代も続いて来た命の炎を燃し途切れの事のない様に祈りたい。（自註）

重度の障がいのある人に手当を支給します

市では、重度の障がいがあるため、日常的に特別な介護が必要で、支給要件を満たす人に、特別障がい者手当または、障がい児福祉手当を支給しています。申請には、指定の診断書などが必要です。手当の認定には障がいの程度や所得要件の審査があり、該当にならない場合があります。詳しくは、市福祉事務所にお問い合わせください。

■特別障がい者手当

【対象者】在宅の20歳以上で、次の①～⑦に該当する障がい者が2つ以上あるか、それと同程度以上の障がいのある人

- ①両眼の視力の和が、0.04以下
 - ②両耳の聴力レベルが100デシベル以上
 - ③両上肢の著しい機能障がいか、両上肢のすべての指を欠くか、両上肢のすべての指に著しい機能障がい
 - ④両下肢の著しい機能障がいか、両下肢を足関節以上で欠く
 - ⑤座っていることができない程度か、立ち上がることができない程度の体幹機能障がい
 - ⑥①～⑤のほか、身体機能の障がい、長期にわたる安静が必要な病状が①～⑤と同程度以上と認められる状態であり、日常生活の用事を行うことが著しく困難な状態にある
 - ⑦精神の障がい(知的障がいを含む)で、①～⑥と同程度以上と認められる
- ※施設に入所した場合や病院などに継続して3カ月以上入院している場合は、支給されません。
※本人か扶養義務者の所得が一定の額を超える場合は、支給されません。

【手当額】月額26,940円(平成30年4月現在の金額)

【支給月】8月・11月・2月・5月に、支給月前の3カ月分を指定された口座に振り込みます。

■障がい児福祉手当

【対象者】在宅の20歳未満で、次の①～⑩に該当する障がいのある人

- ①両眼の視力の和が0.02以下
- ②両耳の聴力が、補聴器を使用しても音声を識別することができない
- ③両上肢の著しい機能障がい
- ④両上肢のすべての指を欠く

- ⑤両下肢が全く動かない
 - ⑥両大腿を2分の1以上失っている
 - ⑦座っていることができない程度の体幹機能障がい
 - ⑧①～⑦のほか、身体機能の障がい、長期の安静が必要な病状が①～⑦と同程度以上と認められる状態、日常生活の用事を行うことが著しく困難な状態にある
 - ⑨精神の障がい(知的障がいを含む)で、①～⑧と同程度以上と認められる
 - ⑩身体機能の障がい、病状、精神の障がい、重複する場合で、その状態が①～⑨と同程度以上と認められる
- ※施設に入所した場合は、支給されません。
※本人か扶養義務者の所得が一定の額を超える場合や障がいを理由とする年金を受給している場合は、支給されません。

【手当額】月額14,650円(平成30年4月現在の金額)

【支給月】8月・11月・2月・5月に、支給月前の3カ月分を指定された口座に振り込みます。

■市福祉事務所 福祉係

☎35-1115(直通)

重度の障がいのある人に医療費の一部を助成します

市では、重度の障がいのある人が病院で診察を受けた場合など、医療費の自己負担分(保険診療外費用・高額療養費・付加給付を除く)に対し、助成を行っています。

該当者には「重度心身障がい者(児) 医療費受給資格者証」を交付します。対象となる障がいの等級は、以下のとおりです。

【障がいの等級】

- ①身体障がい者手帳1級または2級
- ②療育手帳A
- ③身体障がい者手帳が3級でかつ療育手帳B-1

※本人または扶養義務者の所得が一定額を超える場合は、対象となりません。

※所得は、毎年申告の結果で更新されます。これまで該当しなかった人も更新後は該当する場合があります。

【助成額】1カ月にかかった医療費のうち、1,000円を超えた額

【助成方法】

- ①県内の医療機関に入院した場合:現物給付

自己負担上限額(1,000円)を、病院窓口で支払ってください。

②①以外の場合:償還払い

1カ月にかかった医療費が分かる領収書等と申請書を、市福祉事務所福祉係に提出してください。申請月の翌月末に指定された口座に振り込みます。

※申請書は、市福祉事務所、飯野・真幸出張所にあります。市ホームページ(<http://www.city.ebino.lg.jp/>)からもダウンロードできます。

■市福祉事務所 福祉係

☎35-1115(直通)

ハチの巣の駆除は専門業者に依頼しましょう

毎年夏から秋にかけて、ハチの活動が活発になります。巣に気付いたら、むやみに近づいたり、いたずらをしてハチを刺激しないように注意してください。

ハチに刺されると命を落とすことがあります。巣の駆除は、ハチの種類や場所によっては、危険を伴います。巣のある場所の所有者(管理者)から駆除専門業者へ依頼をしてください。

※市ではハチの巣の駆除は行っていません。

※駆除費用は、ハチの巣の状況や大きさにより異なります。直接、駆除専門業者に問い合わせください。

※駆除専門業者については、市民環境課生活環境係までお問い合わせください。

■市民環境課 生活環境係

☎35-3731(直通)

防災士の資格をとりませんか

宮城県では、地域での防災活動の中核となる防災士の養成研修を行っています。

【内容】基礎コース受講→課題レポート作成・提出→専門コース受講→防災士資格取得試験の受験

※防災士の資格を取得するためには、別途、救急救命講習の修了証が必要です。

【参加資格】宮城県内在住または在勤し、すべての講座に出席することが可能で、防災に関わっている人や今後地

域の防災活動に貢献する意思または意欲のある人

【基礎コース開催日】8月19日(日)※受講料は無料

【会場】飯野地区コミュニティセンター

【申込方法】申込用紙を記入の上、市基地・防災対策課に持参またはファクスでお申し込みください。また、主催となるNPO法人宮城県防災士ネットワークへ直接申し込みすることも可能です。

※申込用紙は、市ホームページ(<http://www.city.ebino.lg.jp/>)からダウンロードできます。

【申込期限】8月9日(木)

※えびの以外の会場での研修設定もありますので、市ホームページまたは問い合わせ先でご確認ください。

※防災士資格取得試験を受ける人は、受験料3,000円が必要です。また、資格試験合格後、NPO法人日本防災士機構への認証登録手続きの登録料5,000円が必要となります。

※市では、資格取得試験の受験料と認証登録料の助成を行っています。

■市基地・防災対策課 基地・防災対策係

☎35-1119(直通) / FAX 35-0401

■宮城県危機管理局 危機管理課

☎0985-26-7066

■市NPO法人宮城県防災士ネットワーク

☎0985-55-0447 / FAX 0985-55-0467

肝臓のこと、ご相談ください

宮城県では、宮崎大学医学部附属病院肝疾患センターに肝臓の電話相談窓口を設置しています。

「肝炎ウイルス検査では陽性と言われたけど、どうすればいいの?」「肝炎の治療法は?副作用はあるの?」「治療費の助成は受けられるの?」など、気軽にご相談ください。

医療機関からの相談も受け付けています。

【受付時間】午前9時～午後5時(月曜～金曜)※平日のみ

■宮崎大学医学部附属病院 肝疾患センター

☎0985-85-9763

平成30年度家畜商講習会

宮崎県では、家畜の取り引きに関する講習会を行います。家畜の取り引きに必要な知識を習得することができ、講習会終了後には修了証明書が交付されます。

【開催日】8月22日(水)、23日(木) ※2日間の講習です。

【時間】午前8時30分～午後5時

【場所】宮崎県庁9号館 933会議室

【講習科目および講習時間】

・家畜の取り引きに関する法令について 4時間

・家畜の品種および特徴について 4時間

・家畜の悪癖、機能障害および疾病について 6時間

【申込方法】次の必要書類等を宮崎県西諸県農林振興局農畜産課(〒886-0004 宮崎県小林市細野367-2)へ提出してください。

[申し込みに必要なもの]・必要事項を記入した家畜商講習会受講申込書

・受講手数料3,300円(宮崎県収入証紙)

・写真(申し込み前6カ月以内に撮影した上半身、正面、無帽で本人と識別できるもの)

・家畜人工授精師等の免許証の写し(講習の特例措置を受ける人のみ)

・宮崎県暴力団排除条例に係る誓約書

【申込期限】7月27日(金) 必着

【講習の特例措置】獣医師免許および家畜人工授精師の免許を受けている人は講習の全部または一部を免除します。

【その他】・申し込み時に徴収した受講手数料は返還しません。

・県外に在住している人は、7月27日(金)までに宮崎県農政水産部畜産振興課(〒880-8501 宮崎県宮崎市橘通東2丁目10番1号)へ申込書等の書類を提出してください。

申・問宮崎県西諸県農林振興局 農畜産課

☎23-3166

ご参加ください 「オレンジカフェよかところ」

市では、認知症や介護等についての不安や悩みなどを気軽に相談し合える「オレンジカフェよかところ」を定期的に開催しています。催し物等も楽しめる集いの場です。ぜひ、ご参加ください。

開催日	内容
7月18日(水)	茶会～抹茶でリラックス～ ゲスト：裏千家淡交会
8月22日(水)	音に合わせた体操や手遊びでリフレッシュ 講師：南部在宅介護支援センター 田原芳子氏

【場所】国際交流センター ダイニングホール

【時間】午前10時～正午

【参加料】一人100円(飲み物・お菓子代として)

【対象者】認知症と診断された人や認知症のような症状がある人(診断の有無は問いません)または介護者、内容に関心のある人

【申込方法】当日参加もできますが、可能な限りそれぞれの開催前日までに、市地域包括支援センターに電話でお申し込みください。

申・問市介護保険課 地域包括支援センター(担当:黒川)

☎35-1112(課直通)

平成30年度自衛官募集

自衛隊宮崎地方協力本部小林地域事務所では、平成30年度自衛官募集を行います。

■航空学生

【資格】

[海上] 18歳以上23歳未満の人

[航空] 18歳以上21歳未満の人

※高卒者または高専3年次修了者(見込みを含む)

【受付期間】7月1日(日)～9月7日(金)

【試験日】[1次] 9月17日(月・祝日)

■一般曹候補生

【資格】18歳以上27歳未満の人

【受付期間】7月1日(日)～9月7日(金)

【試験日】[1次] 9月22日(土)

■自衛官候補生

【資格】18歳以上27歳未満の人

【受付期間】[男子] 年間を通じて募集

[女子] 7月1日(日)～9月7日(金)

【試験日】受け付け時に通知します。

申・問自衛隊地方協力本部 小林地域事務所

☎22-5254

ご参加ください「えびの創業塾」

えびの市商工会では、創業・起業・独立開業の第1歩としてえびの創業塾を開催します。創業の準備・初期段階に必要な知識の習得や、ビジネスプランの磨き上げ、起業家マインドの育成などを目的として行います。

ぜひ、ご参加ください。

【開催日時】

	開催日	時間
1回目	7月8日(日)	9:00～12:40
2回目	7月22日(日)	9:00～13:00
3回目	8月5日(日)	9:00～13:00
4回目	8月19日(日)	9:00～12:00
5回目	9月2日(日)	9:00～12:15

【開催場所】えびの市商工会館 2階研修室 ※1回目のみえびの市起業支援センター

【受講料】無料

【申込方法】えびの市商工会へ電話で申し込むか、受講申込書を提出してください。※受講申込書は、市観光商工課およびえびの市商工会で取得できます。

【申込期限】7月4日(水)

※カリキュラム等の詳細は、受講申込書をご覧ください。

申・問えびの市商工会

☎35-1544

上水道は安心して利用できます

今回の硫黄山噴火に伴い、上水道の安全性についてお問い合わせがありますが、えびの市の上水道は、熊本県境等から取水しているため、安心してご利用できます。

問市水道課 経営管理係

☎35-1113(課直通)

おわびと訂正

広報えびのお知らせ版6月号の6月10日～7月9日の行事予定で6月27日(水)に誤りがありました。

図書館・歴史民俗資料館休館となっておりますが、両館とも開館日です。

おわびして訂正します。

問市社会教育課 文化係

☎35-3719(課直通)



◎今月の表紙

5月20日、グリーンパークえびのをメイン会場に行われた第31回えびの京町温泉マラソン大会。ハーフの部、5km付近での先頭集団。

今月の納税

個人市県民税 第1期

介護保険料 第2期

7月2日(月)までに納めましょう。

人口 18,654人(前月比-15人)

男性/ 8,853人(-7人) 女性/ 9,801人(-8人)

転入/ 40人 転出/ 35人

出生/ 9人 死亡/ 29人

世帯数 8,620世帯(前月比-5世帯)

(平成30年6月1日現在)

大 野勇太吉都線ライブの取材に行きました。遠くは兵庫県西宮市から来ていました。ライブ中の皆さんの笑顔に元気もらいました。(東)

京 町温泉マラソン大会には、今年もユニークなコスチュームの人がちらほら…。お寿司やたい焼き、某キャラクターなど、面白いな～と思いながらシャッターを切りました。(久保田)

Editor's



写真:ムラサキナギナタタケ (撮影:平成29年10月3日)

「ムラサキナギナタタケ」

コケとのコントラストが美しい

日に日に暑さが増すこの季節ですが、標高1200mのえびの高原は平地と比べ6〜7℃ほど気温が低く快適です。オスマメはピクニック広場。芝生とコケに覆われた広い空間は風通しが良く、ゴロゴロするにも最高です。

そんな一面の緑の中に、紫色の奇妙なものを見つけました。高さ5〜10cmほどで束になって地面から生えています。これはムラサキナギナタタケというキノコ。長く平らな形をしているため、「薙刀茸」となったそうです。アカマツの根本周辺でコケと落ち葉の間からニョキニョキと生えており、緑茶色、紫色のコントラストがとても美しいキノコです。

県内では「センコウタケ」や「ソウメンタケ」などと呼ばれ、松林で発生する他のキノコ採集のついでに採られていたそうです。

初夏と秋の2回発生し、コケとの共演を楽しませてくれるムラサキナギナタタケ。えびの高原を彩る花々と一緒に、キノコの彩りも楽しんでみてはいかがでしょうか。
 (文/えびのエコミュージアムセンター)

ムラサキナギナタタケ *Alloclavaria purpurea* ムラサキナギナタタケ属